



ユーザーマニュアル

目次

販売元連絡先.....	1
目的.....	2
CE マーク.....	2
FCCマーク.....	3
クラス B のデジタル機器 と周辺機器.....	3
警告.....	3
注意.....	3
電話機起動.....	7
有線接続にてインターネットにアクセス.....	7
無線接続にてインターネットにアクセス.....	7
フロントパネル.....	9
バックパネル.....	10
LED 表示.....	12
LEDステータス.....	12
転送電話（転送先確認後）.....	18
転送電話（転送先無確認）.....	18
無条件転送.....	19
通話中転送.....	20
不応答転送.....	21
基本.....	36
LANホスト.....	36
システムログ.....	37
アカウント設定.....	37
SIP設定.....	42
VoIP QoS.....	43
LAN.....	47
VPN.....	48
DMZ.....	50
ルーティング.....	51
環境設定.....	52
電話帳.....	53
コールログ.....	55
機能キー.....	56
ダイヤルルール.....	57
マネジメント.....	59
ファームウェアマネジメント.....	62
プロビジョン.....	62
TR069.....	64
電源が入らない.....	66
ダイヤルトーンが聞こえない.....	67
発信ができない.....	67
着信ができない.....	67
通話中、音が聞こえない.....	67

ウェブログインができない.....	67
パスワード紛失.....	68

ユーザーガイドについて

この度はフライングボイス社製 電話機「FIP11W」をご利用頂きありがとうございます。

FIP11Wは8のラインキーまで登録が可能なVoIP (Voice over Internet Protocol) 電話機となりIPネットワークを通し通話する電話機です。

この電話機は通常のビジネス電話に必要な機能は全て搭載しているだけでなくデータサービスも含め、通常電話機以上の利便性を備えております。このユーザーガイドにて様々な機能やサービスの理解を深めて頂ければ幸いです

FIP11Wは3dB内部アンテナを搭載しており、無線環境は802.11n 1T1Rを対応しております



販売元連絡先

ウェブサイト: <http://b-quality.jp/>
問合せ: info@b-quality.jp
連絡先: 03-6868-3268

住所： 〒105-0004 東京都港区新橋6-9-2 新橋第一ビル3F-A

目的

ユーザーガイドの目的は利用者へのガイド、**利用方法のアシスト、設置、そしてメンテナンスになります。**
利用者様はしっかり利用用途を理解した上での使用をお勧めします。

フライングボイス社そして株式会社ビークオリティーはいかなる場合でも電話機利用を通してダメージ・損害など一切の責任を取りません。

フィードバック

利用者様からユーザーガイドについての構成、**正確性、完成度**などに関連する部分で何かございましたら当社までご連絡ください。info@b-quality.jp までメールでご連絡ください

適合宣言書

CE マーク

同機器EU(欧州連合)加盟国の基準に満たす基準適合マークを取得しております

The EU Directive 2014/35 / EU, the EMC Directive 2014/30 / EU

FCCマーク

同機器はFCC part15「無線周波数機器」に適合しています。

本機の動作は、次の二つの条件を満たす必要があります：(1)本機は、有害なノイズを発生させない。(2)本機は、望ましくない動作を引き起こす可能性のあるノイズも含め、受信したいかなるノイズにも耐えうるものでなければならない。

クラス B のデジタル機器 と周辺機器

この機器は、FCC 規則のパート 15 に従って、クラス B のデジタル機器の制限に準拠することがテストによって確認されています。これらの規定事項は、一般住居での使用の際に無線通信に障害を起こす干渉を適切な範囲で防止することを目的としています。指示に従って本装置を取り付け、使用しなかった場合、電磁波を発生・使用し、外部に放射することがあり、無線通信に有害な混信を招く恐れがあります。しかし、そのような干渉が特定の配備環境下で起こらないことを保証するものではありません。

注意

製造元が明示的に承認していない変更や改造、本機にそぐわない変更や改造を行うとユーザーの使用権が失効します。

もしこの機器の電源を切ったり入れたりすることで、ラジオやテレビの受信に対する有害な干渉を起こしていることが判明した場合には、ユーザーは以下に示す手段のいずれかを用いて干渉を改善することが望まれます：

- 受信アンテナの再設定または再設置を行う
- **本装置と受信機の距離を離す**
- 装置と受信機の電源系列を別の回路にする
- メーカー、あるいはラジオやテレビの技術者に相談する

警告、注意

以下は警告・注意がどのように同マニュアルで記載されているかを表すものとなります

警告

警告は誤った取扱いをした場合、人が損害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。注意は以下のフォーマット表記となります。

警告

警告内容が記載されます。必ず指示に従ってください

注意

注意のマークがある場合、好まれない状況になる可能性があり、また読者は内容を理解するために新たな追加情報が必要になる場合がある。注意は以下の表記となります。

注意

注意事項が記載されます。よく内容を読んでください

第一章 製品説明

同章は以下の項目をカバーします：

- ・ [FIP11W](#)
- ・ [インターネット接続](#)
- ・ [ハードウェアの説明](#)

FIP11W

モデル

FIP11W

 写真

LED	2.8インチ 液晶ディスプレイ 解像度320 * 240
	<input checked="" type="checkbox"/>
Line	8
イーサネットポート	2*RJ45 10/100Mbps
ヘッドセット	RJ9
USB	1
ラインポート	×
ソフトキー	4
多機能キー	8
PoE	×
コーデック	G.711(A-law,U-law),G.723,G.729A/B,G.722,iBLC
TR069	<input checked="" type="checkbox"/>
SNMP	<input checked="" type="checkbox"/>
VPN	PPTP/L2TP/Open VPN
Auto configuration	TPTP/HTTP/HTTPS ネットワーク管理
電話帳	<input checked="" type="checkbox"/>
通話履歴	<input checked="" type="checkbox"/>
SMS	<input checked="" type="checkbox"/>

インターネット接続

電話機起動

電話組み立てについては**クイックマニュアル**をご参照ください

ステップ1 ACアダプターをコンセントに差し込んでください

注意

ステップ2 **必ず商品に同梱されている電話機液晶ディスプレイを利用して"Find My Voice"**と表示され、電話機右上が赤く**点灯**します

ステップ3 電話機が通常通り起動した場合、ディスプレイにはSIP登録、ネットワーク情報など含む各情報ステータスが表示されます

注意

万が一、上記に記載された情報がディスプレイ上で確認取れない場合には、再度インストールや接続をご確認ください。これらのプロセスで解決されない場合には一度再起動し、それでも解決されない場合には管理者もしくはサービスプロバイダーにお問い合わせください

有線接続にてインターネットにアクセス

ステップ1 **電話機の各接続を確認しスタートする**

ステップ2 インターネットに接続する片方のケーブルを電話機背面にあるインターネットポートに接続しもう片方はインターネットアダプターへ接続してください。

ステップ3 ディスプレイ右上にネットワークロゴがのように表記されます。同ロゴ表記が確認できれば、電話機は有線接続でインターネットにアクセスできている状態を示します

無線接続にてインターネットにアクセス

無線接続は電話機ディスプレイ、もしくはウェブインターフェースどちらかも接続することが可能です。

電話機ディスプレイから接続：

ステップ1  押し ▲ と ▼ ボタン **もしくは 1 2** を押し **"12. ワイヤレス"** を選択し **OK** ボタンを押します

ステップ2 **"2. ワイヤレス接続"** を選択し **OK** ボタンを押すことで、電話機が既存の無線ネットワークをスキャンします。

ステップ3 ▲ と ▼ を利用し、接続したい無線を選択し、**OK** ボタンを押します

ディスプレイ下にあるソフトキー **"接続"** をクリックし接続します。接続された場合には  マーク切替ります

注意

無線接続する際、認証が必要な場合には認証ID及びパスワードを入力してください

ウェブインターフェース：

ステップ1 インターフェースにウェブサイトからログインし、「無線LAN」ページに進み「Repeater」をクリックする。

ステップ2 接続したい無線ネットワークを選択する

ステップ3 画面左下に表示されている「接続する」をクリックする

接続する リフレッシュ 新規作成

ステップ4 選択したネットワークにパスワード設定がされていない場合にはネットワークに接続され、パスワード認証がある場合にはパスワードを入力し"OK"をクリックし接続する

ステップ5 アクセスポイントに接続された場合、下記画面で確認できるようにステータス部分に☑マークが表示される

Wireless Connection

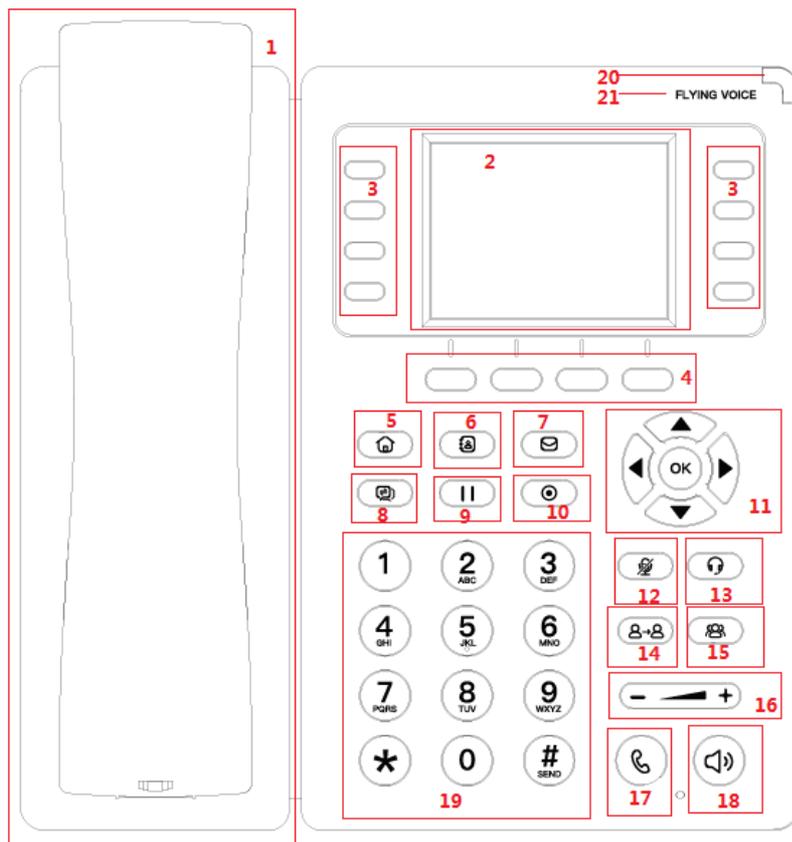
Wireless Connection

Connection Status Connected (AP: wlan-ap)

SSID	Authentication	Encryption	Status
wlan-ap	OPEN	NONE	
CU_3aNc	WPA1PSK/WPA2PSK	AES	

ハードウェアの説明

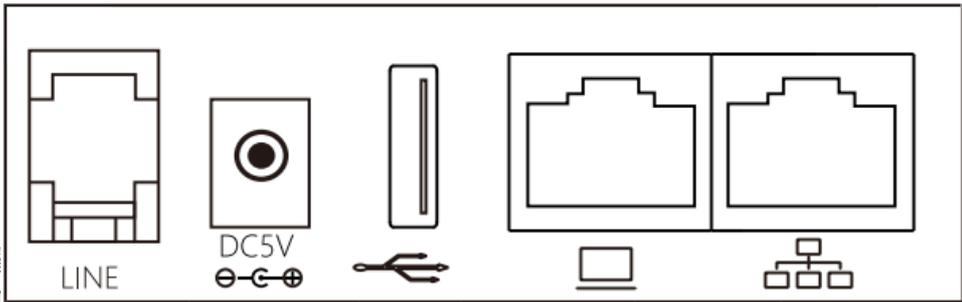
フロントパネル



番号	名前	説明
1	受話器	電話に 出る
		電話に 出る ・電話を切る
		縦（壁設置）した際に受話器が落ちない目的の受話器フック
		電話機左側 RJ11接続ポート
		受話器下側RJ-11接続ポート
2	LED	受話器・受話器設置ラック
		液晶ディスプレイは電話機の各状態を表示する 例えばIPアドレス・電話番号・電話回線状態など
3	多機能キー・ラインキー	1. これらのボタンは多機能キーとして利用することができる。詳細は第四章 機能ボタン参照 2. ラインキーとしても利用することができる。設定した場合にはその際に利用するラインキーをクリックし利用する
		同ボタンのLEDはキーのステータスを表記します。 詳細は第三章 LCD設定を参照
4	ソフトキー	液晶画面、下部に表示されているソフトキーを選択することソフトキーを利用することができる。ソフトキーの機能は利用状況により異なるため、ディスプレイ表記を確認し、利用する
5	メインメニュー	ログインとメインメニュー
6	電話帳	電話帳のショートカット
7	ボイスメール	ボイスメールショートカット
8	液晶別ページ	液晶別ページのショートカット。電話の利便性を上げるため、多機能キーは最大32まで利用することができる
9	保留	既存の通話を保留することができる。通話再開する際には再度保有を押す
10	録音	ワンクリックで録音が可能 (現在同機能はサポートしていません)

11	ナビゲーションキー	1.ナビゲーションキーは上下左右そして確認ボタンを含みます, 2.左・右を選択することで音声調整が行える 3.確認ボタンはネットワークステータスを確認するショートカットボタンにもなる
12	ミュート・削除	1.通話中、押すと ミュート モードになる 2.テキストや番号を入力時、同ボタンを押すことで1つ文字や番号を削除
13	ヘッドセット	ヘッドセットモードへ切替
14	通話転送	通話転送: 通常転送・転送先応答後転送
15	3者通話	通話中に同ボタンを押し、3者通話を開始する
16	音量	音量を上げる、下げる
17	リダイヤル	最後の通話をリダイヤルする
18	スピーカー	スピーカーモードに切替える
19	ダイヤルボタン	発信にダイヤルプランを利用、もしくは別設定にて利用
20	LED	電話機のステータスを色や点滅によって示す
21	Logo	フライングボイス社のロゴ

バックパネル

上記画像	項目	説明
	ライン	電話回線を接続
	DC 5V	電源ポート
	USB	USB機器を接続
	PC	PCインターフェースを接続
	インターネット	ハブ・ルーターなどインターネットへの接続

LED 表示

色	状態	説明
○	なし	1.電源オフ・スリープ・通話中 2.通話が保留・無音モード
●	赤く点灯	電話機が起動中
●	赤く点滅	通話が着信中
●	赤く点滅 (ゆっくり1回/秒)	電話機がショートメッセージ・ボイスメールを受信、 ラインキー登録が成功時

LEDステータス



アイコン	説明
	時刻：現在の時刻を表示します。
	有線接続 ネットワークステータス
	無線接続 ネットワークステータス
	不在着信
	受信メッセージあり
	自動応答
	DND

	無音モード
	受話器で応答・発信・通話
	通話転送:全通話転送、通話中転送、応答なし転送
	ディスプレイページ番号, 現在はページ1
	ラインキー登録完了
	ラインキー登録失敗
	ラインキーオフフック・通話中
	着信中
	4つのソフトキー (履歴・電話帳・システム・パーク)

第二章 基本機能

同章は以下の項目をカバーします:

- ・ SIP登録
- ・ 電話を掛ける
- ・ 電話にでる
- ・ ミュート
- ・ 保留
- ・ 3者間通話
- ・ 電話転送 (応答後)
- ・ 電話転送 (応答前)
- ・ キャッチホン
- ・ 自動応答
- ・ DND
- ・ 電話を切る
- ・ ブラックリスト
- ・ ボイスメール

SIP 登録

SIP登録方法は2つあり、電話機の液晶ディスプレイからと、ウェブがあります

液晶ディスプレイから登録:

- ステップ1 メインメニューボタン  を押す。
- ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは7を入力7.アカウントに進みパスワードを入力
- ステップ3 ラインを選択し、液晶ディスプレイ上に表記された必要な登録情報を入力
- ステップ4 ソフトキー左にある“save/保存”を押し、入力情報を保存
- ステップ5 液晶ディスプレイ ホームにてラインキーステータスを確認。

ウェブページから登録:

- ステップ1 ウェブインターフェースからログイン (4.1参照) .
- ステップ2 SIPアカウントのページに進む

ステータス	ネットワーク	無線LAN	SIPアカウント	電話	アドミン				
Line 1	Line 2	Line 3	Line 4	Line 5	Line 6	Line 7	Line 8	SIP設定	VoIP QoS設定

ベーシック	
ベーシック設定	
回線を有効にする	有効 ▼
P2P	無効 ▼
プロキシと登録	
SIPサーバー	<input type="text"/>
プロキシサーバー	<input type="text"/>
バックアッププロキシサーバー	<input type="text"/>
DHCP オプション 120 が SIPサーバーを上書きできるように許可する	無効 ▼
SIPサーバーポート	<input type="text" value="5060"/>
プロキシポート	<input type="text" value="5060"/>
バックアッププロキシポート	<input type="text" value="5060"/>
加入者情報	
表示名	<input type="text"/>
アカウント	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>
パスワード	<input type="text"/>

- ステップ3 回線を有効にする項目を “有効”に切替える
- ステップ4 プロキシと登録 全項目に必要な情報を入力
- ステップ5 加入者情報にある 全項目に必要な情報を入力
- ステップ6 全項目を入力したらページ下部にある “保存&適応”をクリック
- ステップ7 登録情報を確認するため、液晶ディスプレイ及びウェブにてステータスを確認

注意

ステップ4・5の情報 **が** 手元にない場合、もしくは正しく各情報を入力しても登録認証がされない場合、管理者およびサービスプロバイダーにお問い合わせください

電話を掛ける

以下の方法で電話をかけることができます

受話器

- ステップ1 受話器を手に取り、液晶ディスプレイに "Enter number" と表示される
- ステップ2 かけたい相手の電話番号を入力
- ステップ3 ソフトキー“発信”/ # / 5 秒間待つ で電話を掛ける

ハンズフリー

- ステップ1 スピーカーボタンを押し、液晶ディスプレイに "Enter number" と表示される
- ステップ2 かけたい相手の電話番号を入力
- ステップ3 ソフトキー“発信”/ # / 5 秒間待つ で電話を掛ける

ヘッドセット

- ステップ1 ヘッドセットボタンを押し、液晶ディスプレイに "Enter number" と表示される
- ステップ2 かけたい相手の電話番号を入力
- ステップ3 ソフトキー“発信”/ # / 5 秒間待つ で電話を掛ける

リダイヤル機能

スタンバイモードにて直近に通話した相手にリダイヤル

- ステップ1 ソフトキー“履歴”を選択
- ステップ2 “リダイヤル”を選択。
- ステップ3 番号を選択し、“発信”をクリックしリダイヤルをする

電話帳

電話帳に追加:

液晶ディスプレイから追加:

- ステップ1  を選択、メインメニューにて、“1.全電話帳”を選択
- ステップ2 電話帳⇒新規登録 ソフトキー "ABC" にてひらがな・カタカナ・AaBc・123を選択し登録

電話帳を利用する:

- ステップ1  を選択しナビゲーションキー▲▼、もしくは1を入力 1.全電話帳を選択する、もしくは電話帳ショートカットボタン  をクリック

ステップ2 ナビゲーションキー▲▼で番号選択し、ソフトキー "発信"で電話を掛ける

通話履歴

ステップ1  を選択しナビゲーションキー▲▼、もしくは2を入力 2.通話履歴を選択、もしくは電話番号入力時にソフトキー“履歴”を選択

ステップ2 履歴にて リダイヤル・応答履歴・不在履歴から選択し、ソフトキー "発信" をクリックし電話を掛ける

電話に出る

電話機着信時、電話機右上のLEDが赤く点滅し、着信音がなる
以下の方法で電話に出ることができます

1. 受話器を上げ電話に出る
2. 該当ラインキーを押す
3. スピーカーボタンを押す
4. ヘッドセットボタンを押す
5. ソフトキー“応答”を押す.
6. 自動応答：自動応答機能が有効になっている場合、着信時自動で応答します

ミュート（無音）

ミュート：通話中に  を押すと、マイクが無効になり、液晶ディスプレイに上部に  が表示されます。同機能は相手にこちらの音声が聞こえることを遮断することができます

ミュート解除:  を再度押すとアイコンが消え元の状態に戻ります

保留

通話中に:

ステップ1 通話中に保留ボタン  を押すと、相手側には保留音の流れ、こちらはダイヤルトーンに切替わる

ステップ2 保留中には別の電話番号を入力し、新しい通話を成立させることができます

ステップ3 再度  を押すことで元の通話に戻ることができます

3者間通話

ステップ1 三者間通話はまず二者間通話（通常通話）が成立している通話中時に  を押し、通話を保留にする。保留した電話機側は新たなダイヤルトーンに切替る

ステップ2 3者目に電話を掛ける

ステップ3 3者目と電話が成立した時点で "3者間通話"  を押し、3者通話が始まる

ステップ4 保留者が電話を切断した場合には、通話は終了となります。

転送電話（応答後）

転送電話（転送先確認後）

機能説明:

着信した際、転送を必要とする電話の場合、先に転送先と会話し確認後、転送する機能

使い方:

ステップ1 通常二者間通話中  ボタンを押し、既存の通話を保留にする

ステップ2 保留にした後に、転送したい先へ電話

ステップ3 転送した先と会話し、転送承諾を得る

ステップ4 承諾後、“転送”  ボタンを押すか、ソフトキー上の転送を押す。保留元の通話は切断され、転送が成立する

ステップ5 転送したイサキが転送承諾しない場合、同通話切断後  ボタンを押し保留通話を会話を再開する

転送電話（転送先無確認）

機能説明:

電話を受けた際、転送したい先の確認なしで、転送を行う機能

使い方:

- ステップ1 二者間通話中に  ボタンもしくは、ソフトキー“転送”を押す。保留されている側には保留音を、保留元にはダイヤルトーンに切替る
- ステップ2 転送したい先に電話する
- ステップ3 転送したい側が応答した場合、自動的に保留元コールは切断させ、転送が成立する

電話転送（応答前）

無条件転送

機能説明:

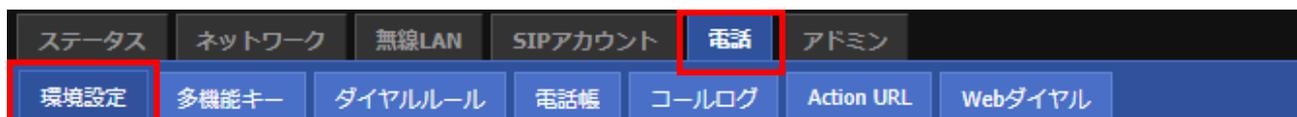
着信する通話を全て事前設定されている番号へ転送。電話機液晶ディスプレイ、またはウェブから設定が可能

液晶ディスプレイ:

- ステップ1  ボタンを押す。
- ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは8を入力 **8.転送⇒無条件転送**を選択
- ステップ3 無条件転送をディスプレイ上の各項目 「はい・いいね」「番号」を入力
- ステップ4 上記設定を左から二つ目のソフトキー「保存」する

ウェブ:

- ステップ1 ウェブから電話機へログインし"電話-環境設定" ページへ進む。



- ステップ2 **常時転送**を有効にする

機能

常時転送	無効 ▼	話中転送	無効 ▼
応答なし転送	無効 ▼	オンフック転送	有効 ▼
DND	無効 ▼		

転送

常時転送		話中転送	
応答なし転送		応答なし時間切れ(s)	20

- ステップ3 転送先電話番号を入力する
- ステップ4 ページ下にある‘保存’‘保存&適用’をクリックし設定を反映させる

使い方

- ステップ1 着信した場合、電話機はならず、事前に設定された転送先電話番号へ電話が自動転送させる
- ステップ2 転送先に設定された電話番号の電話になり、通話が成立する。

通話中転送

機能説明:

回線が通話中の場合のみ、転送される機能。電話機液晶ディスプレイ、またはウェブから設定が可能

液晶ディスプレイ:

- ステップ1  ボタンを押す。
- ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは8を入力 **8.転送⇒通話中転送**を選択
- ステップ3 通話中転送をディスプレイ上の各項目 「はい・いいね」「番号」を入力
- ステップ4 上記設定を左から二つ目のソフトキー「保存」する

ウェブ:

- ステップ1 ウェブから電話機へログインし"電話-環境設定" ページへ進む。



- ステップ2 **話中転送**を有効にする

機能

常時転送	無効 ▼	話中転送	無効 ▼
応答なし転送	無効 ▼	オフフック転送	有効 ▼
DND	無効 ▼		

転送

常時転送		話中転送	
応答なし転送		応答なし時間切れ(s)	20

- ステップ3 転送先電話番号を入力する
- ステップ4 ページ下にある'保存'/'保存&適用' をクリックし設定を反映させる

使い方:

- ステップ1 通話中の電話機が異なる通話を着信する
- ステップ2 通話中の場合事前に設定された転送先電話番号へ電話が自動転送となる
- ステップ3 転送先に設定された電話番号の電話になり、通話が成立する。

不応答転送

機能説明:

一定時間、着信するが応答が会い場合に、事前に設定された転送先へ通話を転送する機能。電話機液晶ディスプレイ、またはウェブから設定が可能

液晶ディスプレイ:

- ステップ1  ボタンを押す。
- ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは8を入力 **8.転送⇒不応答転送**を選択
- ステップ3 不応答転送をディスプレイ上の各項目 「はい・いいね」「番号」を入力
- ステップ4 上記設定を左から二つ目のソフトキー「保存」する

ウェブ:

- ステップ1 ウェブから電話機へログインし"電話-環境設定" ページへ進む



- ステップ2 **応答なし転送**を有効にする

機能

常時転送	無効 ▼	話中転送	無効 ▼
応答なし転送	無効 ▼	オンフック転送	有効 ▼
DND	無効 ▼		

転送

常時転送	<input type="text"/>	話中転送	<input type="text"/>
応答なし転送	<input type="text"/>	応答なし時間切れ(s)	20

- ステップ3 **応答なし転送**が有効になっていることを確認し、転送先電話番号を入力、そして、**応答なし時間切れ**を設定（デフォルトは20秒）

- ステップ3 転送先電話番号を入力する

- ステップ4 ページ下にある‘保存’/‘保存&適用’をクリックし設定を反映させる

使い方:

- ステップ1 通話を着信する
- ステップ2 着信するが不応答のまま維持される
- ステップ3 20秒後、着信音が終了し、事前設定された転送先で通話が転送される

キャッチホン

機能説明:

通話中に別の通話が着信した際に、音で別の着信があることを伝え、必要であれば既存通話を保留し、別着信の応答することができる

液晶ディスプレイ:

- ステップ1  ボタンを押す。
- ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは5を入力し**5.プロパティ**設定に進み**2.キャッチホン**を選択
- ステップ3 キャッチホン はい・いいえ を選択すると設定は自動的に更新される

ウェブ:

- ステップ1 ウェブから電話機へログインし‘**SIPアカウント-Line 1**’ページに進む。



- ステップ2 ページ中部にある‘**付加サービス**’に進む。

付加サービスの加入

補足サービス

キャッチホン	無効 ▼	ホットライン	<input type="text"/>
MWI有効	有効 ▼	ボイスメールボックス数	9001
MWI サブスクライブ有効	有効 ▼		

- ステップ3 キャッチホンを有効にする
- ステップ4 **保存** / **保存&適用** をクリックし設定を反映させる

使い方:

- ステップ1 電話機のキャッチホン機能をONにする
- ステップ2 通話中に別の着信が入る
- ステップ3 別通話の着信中、キャッチホンを知らせる音が鳴り、電話機、右上のLEDが点滅し、液晶ディスプレイには新しい着信があることが表示される
- ステップ4 キャッチホンに対応する場合には、ラインキーを押すか、 ボタンを押し、新しい着信に応答をし、前の着信を保留にする
- ステップ5 キャッチホンがOFFになっている場合には、新しい着信はなく、相手には通話中のトーンが流れる

自動応答

機能説明:

通話がある際に自動的に電話に出る機能

液晶ディスプレイ:

- ステップ1  ボタンを押す。
 ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは5を入力し 5.プロパティ 設定に進み 3.自動応答に進む
 ステップ3 自動応答をオンにする はい・いいえ を選択すると設定は自動的に更新される

ウェブ:

- ステップ1 ウェブから電話機にログインし "電話-環境設定"に進みます。



- ステップ2 ページ下部にある 'Miscellaneous' に進む。

Miscellaneous

全コール自動応答	無効 ▼	Call INFOによる自動応答	無効 ▼
自動応答 遅延タイム	0	特定番号 自動応答	
ダイヤルタイムアウト	5	Call Immediately Key	# ▼

- ステップ3 1で自動応答の有効・無効が行えます、2では自動応答までに時間が設定できます。例として10秒になっていれば10秒後に自動的に電話応答します

使い方:

- ステップ1 電話機の自動応答が有効+自動応答時間が10秒で設定されている
 ステップ2 電話機が着信する
 ステップ3 10秒間着信後、電話機は自動的に電話応答する

設定確認

DND (着信拒否)

機能説明:

DND:Do not disturb, 全通話拒否

液晶ディスプレイ:

- ステップ1  ボタンを押す。

ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは5を入力し**5.プロパティ**設定に進み**6.DND**を選択

ステップ3 DND はいを選択すると設定は自動的に更新され液晶ディスプレイにはが表記される。DND有効時には同アイコンが**表示**される

ウェブ:

ステップ1 ウェブから電話機にログインし "電話-環境設定"に進みます。



ステップ2 ページ中部にDND設定項目があります ある**機能**に進む。



ステップ3 同項目にてDND有効・無効に設定ができます

使い方:

ステップ1 電話機のDNDを有効にしがディスプレイに表示される

ステップ2 電話機が着信する

ステップ3 電話機は応答・着信はせず、ビジートーンになる

電話を切る

方法1 受話器を置く

方法2 ハンズフリーの場合、スピーカーボタンを押す

ブラックリスト

機能説明:

特定の電話番号をブラックリストに登録することで、登録番号からの着信ブロックすることができる

液晶ディスプレイ:

ステップ1  ボタンを押す。

ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは4を入力し**4ブラックリスト**を選択。

ステップ3 "追加"を選択し、必要情報を入力しブラックリストに追加する

ウェブ:

ステップ1 ウェブから電話機へログインし "電話機-電話帳"ページへ進む



ステップ2 ページ中部にアップロードCSV ダウンロードCSVがある ある'ブラックリストアップロード&ダウンロード'に進む.

ブラックリスト アップロード&ダウンロード

ブラックリスト アップロード&ダウンロード

ローカルファイル 選択されていません

ステップ3 一括で登録する際には先に空白のフォーマットをダウンロードし、A列に名前、B列に番号を入力し、アップロードする

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	NAME	NUMBER							
2	A	123							
3									
4									
5									
6									
7									
8									

ステップ4 番号ごとに登録する場合、ページ下部にある"追加" をクリックし必要な名前・番号を入力

ブラックリスト

インデックス 名前 番号

ステップ4 **保存**/'**保存&適用**' をクリックし設定を反映させる

ボイスメール

注意:

サーバー側でボイスメール機能が設定されている必要があります

液晶ディスプレイ:

- ステップ1  ボタンを押す。
- ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは10を入力し **10. ボイスメール**に進む
- ステップ3 パスワードを入力し、設定したいラインキーを選択
- ステップ4 進むとボイスメールを有効となり「ボイスメール番号」を入力する、(ボイスメール番号はサーバー設定され番号となり端末から設定できる番号ではありません)
- ステップ5 ソフトキーの「保存」をクリックし設定を保存する

注意:

メッセージがある際、オフフック状態でサーバー側で決められたボイスメール番号を入力し確認する

ウェブ:

ステップ1 ウェブから電話機へログインし '**SIPアカウント/Line1**' へ進む。



ステップ2 MWI両方を有効にし、ボイスメール番号を入力する

補足サービス

キャッチホン	無効 ▼	ホットライン	<input type="text"/>
MWI有効	有効 ▼	ボイスメールボックス数	<input type="text"/>
MWIサブスクライブ有効	有効 ▼		

ステップ3 **保存**/'**保存&適用**' をクリックし設定を反映させる

使い方:

ステップ1 ボイスメールがある際、電話機右上のLEDが点滅する (**1台の場合のみ**)

- ステップ2  を押し、メールボックスにアクセスする
- ステップ3 オフフック状態で、ボイスメール番号を入力することでメールボックスにアクセスすることもできる
- ステップ4 メールボックスにアクセスした後、音声アナウンスに従い対応してください。利用者は新しいボイスメール、古いボイスメールを確認でき、ボイスメールに対して返答することもできま

第三章 液晶ディスプレイ設定

同章は以下の項目をカバーします:

- ・ 言語
- ・ 着信音
- ・ 時刻/日時
- ・ 再起動
- ・ 工場初期化
- ・ その他・仕様

言語

- ステップ1  を選択
- ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは5を入力し to 5 プロパティ に進む
- ステップ3 1. 言語 を選びソフトキー "確認"を押し、言語画面に進む
- ステップ4 ナビゲーションキー▲▼、にて言語を選択し "確認"を押しと言語が変更される

着信音

- ステップ1  を選択
- ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは6を入力し **6** 着信音に進む
- ステップ3 ナビゲーションキー▲▼にて着信音を選択する
- ステップ4 ソフトキー "確認"を押し着信音を変更する

時刻・日時

通常、電話機はサーバーと自動的に同期し、正しい日時表記になっています。必要であれば以下のステップで変更できます:

Set the date and time:

- ステップ1  を選択
- ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは9を入力し **9** 時刻/日時に進む
- ステップ3 日付を選択し、変更する: MM/DD/YY.
- ステップ4 時刻を選択し、変更する: HH/MM/SS.
- ステップ5 ソフトキー "確認"を押し変更する

再起動

- ステップ1  を選択
- ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは15を入力し **15** 再起動
- ステップ3 再起動しますか? と表示されるためソフトキーで"確認"を押し再起動する.

工場初期化

メインメニューから工場初期化設定にすることができます。同機能はトラブルシューティング時などに利用するため、通常動作で行う作業ではありません。必要であれば管理者に連絡をとってください

From LCD:

- ステップ1  を選択
- ステップ2 ナビゲーションキー▲▼、もしくは16を入力し **16** 工場初期化
- ステップ3 ソフトキー"OK"を押すと、電話機は自動的に工場初期化となり再起動します

その他・仕様

メインメニュー	サブメニュー	サブメニューアイテム	機能説明
1.電話帳	追加		ソフトキーを使うことで、100個まで連絡先を登録することができる
	連絡先		1. ディレクトリーから連絡先を選択し、詳細情報を確認できる 2. ソフトキーを使い、発信・SMS・編集・閲覧・削除・ブラックリスト登録ができる
2.通話履歴	リダイヤルリスト		1. リストは60コールまで 2. ソフトキーを使い、発信・SMS・電話帳に登録などができます
	応答履歴		
	不在着信		
3.SMS	送信		テキスト入力・送信
	受信BOX		直近100メッセージまで確認可能
	送信BOX		
4.ブラックリスト	追加		ソフトキーを使い、100番号まで追加可能
	連絡先		1. ブラックリストに登録されている番号確認 2. ソフトキーを使い、発信・SMS・編集・閲覧・削除・電話帳登録できる
5.プロパティ	言語		言語の選択
	キャッチホン		キャッチホンを有効・無効に設定
	自動応答		自動応答を有効・無効に設定
	オーディオ選択		自動応答時、スピーカーかヘッドセットで応答するか設定
6.着信音	着信音1		着信音を確認し、設定が可能
	着信音2		
	着信音3		
	着信音4		
	着信音5		
	着信音6		
	着信音7		

		着信音8	
		着信音9	
		着信音10	
7.アカウント	Line1-8	Line 有効	ラインを 有効・無効に設定
		パスワード	SIPアカウントのパスワード
		ユーザーID	SIPユーザーID
		表示名	液晶ディスプレイに表示される
		電話番号	SIP電話番号/ユーザーID
		SIPドメイン	SIPサーバーIPアドレス・ドメイン
		SIPポート	SIPサーバーポート
		Proxyサーバー	ProxyサーバーIPアドレス/ドメイン名
		Proxyサーバー ポート	Proxyサーバーポート
		Backup Proxyサ ーバー	Backup ProxyサーバーIPアドレス/ドメイン名
		Backup Proxyポ ート	Backup Proxyサーバーポート
		8.転送電話（応 答前）	無条件転送
転送先番号	転送先番号を入力		
コードON	転送を有効		
コードOFF	転送を無効		
通話中転送	全通話転送		有効・無効を設定
	転送先番号		転送先番号を入力
	コードON		転送を有効
	コードOFF		転送を無効
不応答転送	不応答転送		有効・無効を設定
	転送先番号		転送先番号を入力
	着信時間設定		転送させるまでの時間設定（秒）
	コードON		転送を有効
	コードOFF	転送を無効	
9.時刻/日時	時刻(H:M:S)		現在の時刻を電話機に設定
	日時(M/D/Y)		現在の日時を電話機に設定
10.ボイスメール	Line 1-8	MWI 有効	ボイスメール通知 有効・無効に設定
		ボイスメール 番号	ボイスメール番号入力

11.ネットワーク	WAN接続タイプ		1.インターネットポートの接続タイプを確認及び変更できる 2. 接続タイプはStatic, DHCP, PPPoE
	現在のIPアドレス		現在のインターネットポートのIPアドレスを変更できます
	現在のサブネットマスク		現在のサブネットマスクを変更
	現在のゲートウェイ		現在のゲートウェイを変更
	プライマリーDNS		現在のプライマリーDNSを変更
	セカンダリーDNS		現在のセカンダリーDNSを変更
	WANログイン有効		インターネットポートから電話機へウェブログインを有効・無効に設定
	ウェブポート		ウェブポートを確認・変更
	SIP QoS		SIP QoSを確認・変更
	RTP QoS		RTP QoSを確認・変更
	Data QoS		QoSを確認・変更
	VLAN Tag		VLANを有効・無効に設定
	VLAN ID		VLAN IDを確認・変更
	802.1p Priority		priority of 802.1pを確認・変更
12.ワイヤレス	ワイヤレス設定	ワイヤレス地域	ワイヤレス地域を確認・変更
		ワイヤレス接続タイプ	1. ワイヤレス接続タイプを確認・変更 2. DHCP・staticから選択
		現在のIPアドレス	無線ネットワーク上の既存IPアドレスを確認・変更
		現在のネットマスク	無線ネットワーク上の既存ネットマスクを確認・変更
		現在のゲートウェイ	無線ネットワーク上の既存ゲートウェイを確認・変更
		プライマリーDNS	無線ネットワーク上の既存プライマリーDNSを確認・変更
		セカンダリーDNS	無線ネットワーク上の既存セカンダリーDNSを確認・変更
	無線接続	AP	全無線接続先を表示

13.製品情報	製品名		現在の製品名・ソフトウェアバージョン・ハードウェアバージョン・マックアドレスなどを確認.
	ソフトウェアバージョン		
	ハードウェアバージョン		
	MACアドレス		
	シリアル番号		
14.ステータス	インターネットポートステータス		既存のインターネット情報確認 WAN接続タイプ、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS、WANポートステータス、無線接続ステータスなど
	VPNステータス		VPNステータス確認:IPアドレスなど
	登録ステータス	lines 1-8の登録ステータス	現在のlines 1-8登録ステータス確認
15.再起動			電話機再起動
16.工場初期化			工場初期化にする
17.パスワード設定			パスワードを再設定する 電話機のパスワードとウェブパスワードは同じです。 デフォルトパスワードはnull
18.ログイン・ログアウト			クリックするとログアウトします

第四章 ウェブ設定

同章は以下の項目をカバーします:

- ・ログイン
- ・SIPアカウント
- ・Line 1
- ・ネットワーク
- ・電話
- ・ダイヤルルール
- ・アドミン

ログイン

ログインには二つのモードがあります:

- (1) アドミンモード: デフォルトユーザー名・パスワードは共に `admin`になります。アドミンモードではウェブから全フィールドを閲覧+設定できます

(2) ユーザーモード：デフォルトユーザー名・パスワードは共に userになります。ユーザーモードではウェブから一部のフィールドのみ閲覧+設定できます

ログインステップ:

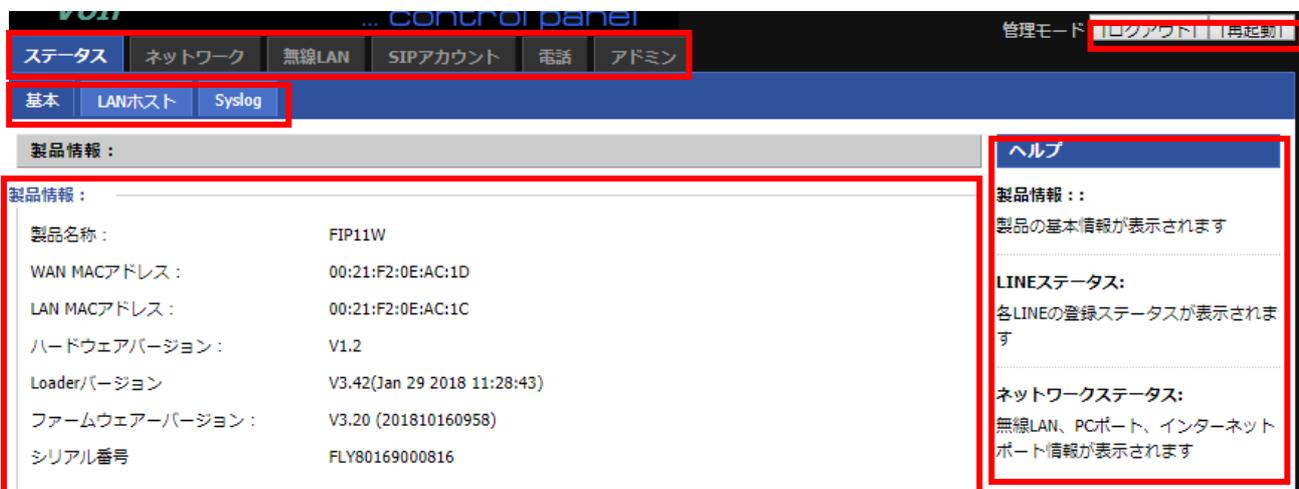
ステップ1 電話機を正しく接続し、PCが同じネットワークに接続していることを必ず確認する

ステップ2 電話機のIPアドレスを確認： を押し、ナビゲーションキー▲▼もしくは14を入力し 14 ステータスを選択し、インターネットポートステータスにて確認。またはナビゲーションキーの中央  ボタンを押すことでもネットワークステータスを確認。

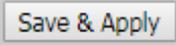
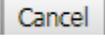
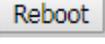
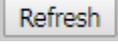
ステップ3 ブラウザーから"http://電話機のIPアドレス"を入力しログインページに進む



ステップ4 'admin'か'user'そして正しいパスワードを入力し"Login"ボタンをクリックし設定画面へ進む



箇所番号	名前	説明
ポジション 1	メインタグ	クリックし各タグページへ進む
ポジション 2	サブタグ	サブタグをクリックし設定ページを進む
ポジション 4	製品情報	情報を表示
ポジション 5	ログイン/ログアウト	ファームウェアバージョン・日時・時刻・ログインモードが確認できる

ポジション 6	ヘルプ	設定項目など不明点などヘルプを確認
		同ボタンを押すと「保存+適応」される
		設定内容変更・数値変更した際「保存」をクリックすると設定が保存される、なお保存後は機器の再起動が必要となる
		各設定をキャンセル
		再起動
		既存ページをリフレッシュ

ステータス

基本

電話機の基本情報を表示: 製品名称、各ステータス（SIP登録・ネットワーク・VPN・PCポート・システム）。情報を更新するには「リフレッシュ」をクリック。

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration
Basic	LAN Host	Syslog			

Product Information	Help
Product Information Product Name: FIP11W Internet(WAN) MAC Address: 00:21:F2:00:00:45 PC(LAN) MAC Address: 00:21:F2:00:00:44 Hardware Version: V1.1 Loader Version: V3.31(Jan 16 2017 10:13:29) Firmware Version: V3.20(201702241058) Serial Number: FLY6416B000570	Product Information: It shows the basic information of the product. <hr/> Line Status: It shows the registration state of each line. <hr/> Network Status: It shows the information of Internet Port,WIFI and PC port. <hr/> System Status: It shows the current time and the running time of the product.
Line Status Line 1 Status: Register Fail Primary Server: 0.0.0.0 Backup Server: 0.0.0.0	

LANホスト

このページは電話機LANポートに接続されている機器一覧が確認できます

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration
Basic	LAN Host	Syslog			
LAN Host info					
MAC Address	IP Address	Interface Type	Address Source	Expires	Host name
Ipv6 LAN Host Info					
MAC Address	IPv6 Address	Expires			

システムログ

システムログが確認できます。‘Clear’ボタンを押すと全ログが削除。‘Refresh’ボタンを押すと全情報が削除。‘Save’ボタンを押すとログをローカルPCに保存

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration
Basic	LAN Host	Syslog			
Refresh	Clear	Save			
<pre> Manufacturer:FLYINGVOICE ProductClass:FIP11W SerialNumber:FLY6416B000570 BuildTime:201702241058 IP:192.168.1.1 HWVer:V1.1 SWVer:V3.20 <Thu Oct 12 15:43:19 2017> ipphone[10313]: Call is established with [101] <Thu Oct 12 15:43:19 2017> ipphone[10316]: snd_data_to_dsp start <Thu Oct 12 15:43:39 2017> ipphone[10313]: call with [101][101] end <Thu Oct 12 15:43:39 2017> ipphone[10314]: Close RtpChan(0 0) <Thu Oct 12 15:43:40 2017> ipphone[10322]: StopRingAlerting... <Thu Oct 12 15:46:53 2017> ipphone[10334]: Compress 1 Messages <Thu Oct 12 15:46:53 2017> ipphone[10334]: InCall line 0 Caller 101 Callee 601 <Thu Oct 12 15:46:53 2017> ipphone[10313]: New Call from:[101][101] </pre>					

SIPアカウント

同ページはアカウント設定ができます: アカウント・SIP・VoIP QoS などの設定が行えます。次の写真で設定項目のサブタグタイトル名が確認できます

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration				
Line 1	Line 2	Line 3	Line 4	Line 5	Line 6	Line 7	Line 8	SIP Settings	VoIP QoS

アカウント設定

利用者はLine1-8まで設定を同ページで行えます。基本設定・付加サービス・詳細設定などが含まれます

ベーシック設定

VoIPサービスプロバイダーから提供された各基本情報（電話番号・アカウント情報・パスワード・サーバー情報など）を設定

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration				
Line 1	Line 2	Line 3	Line 4	Line 5	Line 6	Line 7	Line 8	SIP Settings	VoIP QoS

Basic

Basic Setup

Line Enable Outgoing Call without Registration

Proxy and Registration

Proxy Server Proxy Port
 Outbound Server Outbound Port
 Backup Outbound Server Backup Outbound Port

Subscriber Information

Display Name Phone Number
 Account Password

項目	説明
回線を有効にする	ラインキー設定 有効・無効
SIPサーバー	SIPサーバードメイン・IPアドレス 入力
SIPサーバーポート	SIPサーバーポート 入力 デフォルト値5060
プロキシサーバー	プロキシサーバードメイン・IPアドレス 入力
プロキシポート	プロキシポート 入力
バックアッププロキシサーバー	バックアッププロキシサーバー
バックアッププロキシポート	バックアッププロキシポート
表示名	液晶に表示される名称
電話番号	発行された電話番号もしくはユーザー名入力
アカウント	発行されるユーザー名入力

音声コンフィグ

音声のコーデックフォーマットを選択:

Audio Configuration

Codec Setup

Audio Codec Type 1 Audio Codec Type 2
 Audio Codec Type 3 Audio Codec Type 4
 Audio Codec Type 5 Audio Codec Type 6
 Audio Codec Type 7
 G.723 Coding Speed Packet Cycle(ms)
 Silence Supp Echo Cancel
 Auto Gain Control Use First Matching Vocoder in 2000K SDP
 Codec Priority Packet Cycle Follows Remote SDP

項目	説明
音声コーデックタイプ	G.711A, G.711U, G.722, G.729, G.723から選択
G.723 コーデック速度	5.3kbps、6.3kbps どちらかで選択
パケットサイクルe(ms)	RTPパケットサイクルを設定：デフォルト値 20ms
Silence Supp	Whether it is enabled.
エコキャンセラー	有効・無効を設定 デフォルトは夕刻
自動利得制御(Auto Gain Control)	有効になっている場合、増幅回路のシグナル強度を自動的に制御・調整する
Use First Matching Vocoder in 200OK SDP	無効・有効 設定
コーデック優先順位	コーデック優先順位の選択 ローカルかリモート
Packet Cycle Follows Remote SDP	Whether the packaging cycle to the main end

付加機能

Supplementary Service Subscription

Supplementary Services

Call Waiting	Enable ▼	Hot Line	<input type="text"/>
MWI Enable	Enable ▼	Voice Mailbox Numbers	<input type="text"/>
MWI Subscribe Enable	Disable ▼		

項目	説明
キャッチホン	有効・無効を設定
ホットライン	ホットラインを設定すると、電話機をオフフック状態になると自動的にホットライン番号に電話を発信します
MWI 有効	ボイスメール通知機能となる。ボイスメールを利用する場合には有効にする
ボイスメール番号	SIPサーバー側のボイスメール番号を入力oice mailbox signature * 97
MWI サブスクライブ有効	有効・無効を設定

アドバンス

Advanced**SIP Advanced Setup**

Domain Name Type	Enable ▾	Carry Port Information	Disable ▾
Signal Port	56049	DTMF Type	Inband ▾
RFC2833 Payload(>=96)	101	Register Refresh Interval(sec)	3600
Caller ID Header	FROM ▾	Remove Last Reg	Enable ▾
Session Refresh Time(sec)	0	Refresher	UAC ▾
SIP 100REL Enable	Disable ▾	SIP OPTIONS Enable	Disable ▾
Initial Reg With Authorization	Disable ▾	Reply 182 On Call Waiting	Disable ▾
NAT Keep-alive Interval(10-60s)	15	Anonymous Call	Disable ▾
Anonymous Call Block	Disable ▾	Proxy DNS Type	A Type ▾
Use OB Proxy In Dialog	Disable ▾	Complete Register	Disable ▾
Reg Subscribe Enable	Disable ▾	Reg Subscribe Interval(sec)	0
Dial Prefix		User Type	Phone ▾
Hold Method	ReINVITE ▾	Request-URI User Check	Enable ▾
Only Recv Request From Server	Disable ▾	Server Address	
SIP Received Detection	Disable ▾	VPN	Disable ▾
SIP Encrypt Type	Disable ▾	RTP Encrypt Type	Disable ▾
Country Code		Remove Country Code	Disable ▾
Tel URL	Disable ▾	Use Random SIP Port	Enable ▾
Min Random SIP Port	50000	Max Random SIP Port	60000
Prefer Primary SIP Server	Disable ▾	Hold SDP Attribute Inactive	Disable ▾
BLF List URI		BLF Pickup Code	

RTP Advanced Setup

RTP Port Min	0 (0 means auto select)	RTP Port Max	50000
--------------	-------------------------	--------------	-------

項目	説明
ドメイン名タイプ	URI上でドメイン名での認識を有効・無効 設定
キャリーポート情報	SIP URIポート情報を送信するか 有効・無効 設定
信号ポート	SIPプロトコルのローカルポート番号
DTMFタイプ	2番目にダイヤルする方法を選択 In-band, RFC2833, SIP Info.
RFC2833 Payload(>=96)	デフォルト値で使えます
Register Refresh Interval(sec)	デフォルト値で使えます
Caller ID Header	サーバーに合わせて設定をする項目になります
Remove Last Reg	有効・無効 設定
セッションリフレッシュ時間(sec)	デフォルト値で使えます
リフレッシャー	UAC・UASで選択

SIP 100REL 有効	同機能が有効になっていると、IP電話機はSIPサーバーに対し、SIP-OPTIONをHELLOメッセージの代わりに定期的送信します。送信するインターバルはSIP設定ページの"NATリフレッシュ間隔"で設定できます。
SIP OPTIONS Enable	有効・無効 設定
Initial Reg With Authorization	登録時に認証情報を所有するか 有効・無効 設定
Reply 182 On Call Waiting	キャッチホン時に182を送信するか 有効・無効 設定
キープアライブの間隔(10-60s)	空白のパケットを送る間隔
非通知通話着信	有効・無効 設定
非通知通話拒否	有効・無効 設定
プロキシDNSタイプ	プロキシDNS サーバタイプを選択 type A, DNS SRV, Auto
ダイアログでOBプロキシを使う	OBエージェントを会話で使うか 有効・無効 設定
登録完了	全情報登録を有効にするか 有効・無効 設定
Reg サブスクリプション有効	有効になっているとサブスクリプションメッセージが登録メッセージ後に送信される。無効時、サブスクリプションメッセージは送信されない
Reg Subscribe Interval(sec)	
Dial Prefix	発信番号前に固定付ける番号
ユーザータイプ	IP
Hold Method	保留方法 REINVITE か INFO
Request-URI User Check	利用者に確認許可を与える 有効・無効 設定
Only Recv Request From Server	有効の場合、サーバーからのリクエストのみ許可、それ以外のアクセスは許可しない 有効・無効 設定
サーバーアドレス	SIPサーバーアドレス
SIP Received Detection	有効・無効 設定
VPN	有効・無効 設定
SIP 暗号化	有効・無効 設定
RTP 暗号化	有効・無効 設定
国別コード	国別コード
国別コード撤回	有効・無効 設定
Tel URL	有効・無効 設定
ランダムSIPポート	有効・無効 設定
ランダムSIPポート値 最小	Random SIP Port 最低値
ランダムSIPポート値 最大	Random SIP Port 最大値
Prefer Primary SIP Server	有効・無効 設定
Hold SDP Attribute Inactive	有効・無効 設定

 BLF List URL

 BLF PickUp Code

 RTPポート値 最小

 RTPポート最低値

 RTPポート値 最大

 RTPポート最大値

SIP設定

SIPパラメーター調整

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration				
Line 1	Line 2	Line 3	Line 4	Line 5	Line 6	Line 7	Line 8	SIP Settings	VoIP QoS

SIP Parameters

SIP Parameters				
SIP T1	<input type="text" value="500"/>	ms	Max Forward	<input type="text" value="70"/>
SIP User Agent Name	<input type="text"/>		Max Auth	<input type="text" value="2"/>
Reg Retry Intvl	<input type="text" value="30"/>	sec	Reg Retry Long Intvl	<input type="text" value="1200"/>
Mark All AVT Packets	<input type="text" value="Enable"/>		RFC 2543 Call Hold	<input type="text" value="Enable"/>
SRTP	<input type="text" value="Disable"/>		SRTP Prefer Encryption	<input type="text" value="AES_CM"/>
Service Type	<input type="text" value="Common"/>		DNS Refresh Timer	<input type="text" value="0"/>
Transport	<input type="text" value="UDP"/>			

Response Status Code Handling

Retry Reg RSC	<input type="text"/>
---------------	----------------------

項目	説明
SIP T1	デフォルト値 500ms
SIP ユーザーエージェント名	SIP ユーザーエージェント名入力
最大転送	最大ホップ値 デフォルト値 70
最大認証	認証失敗時の再認証試み回数値 デフォルト値2
Reg Retry Intvl	登録失敗時の間隔, デフォルト値30秒
Reg Retry Long Intvl	登録失敗時、次に接続しに行く間隔 デフォルト値1200秒
全AVKパケットマーク	デフォルト値 有効
RFC 2543コール保留	デフォルト値 有効
SRTP	デフォルト値 無効
SRTP Prefer 暗号化	AES_CM と ARIA_CMをサポート
Service Type	デフォルト値 共通
DNSリフレッシュタイマー	デフォルト値 0

Transport デフォルト値 UDP

NAT Traversal

NAT Traversal

NAT Traversal

NAT Traversal STUN Server Address
 NAT Refresh Interval(sec) STUN Server Port

項目	説明
NAT Traversal	無効
STUN サーバーアドレス	STUNサーバーアドレス入力
NAT リフレッシュ間隔(sec)	デフォルト値 60
STUNサーバーポート	デフォルト値3478

VoIP QoS

QoS Settings

Layer 3 QoS

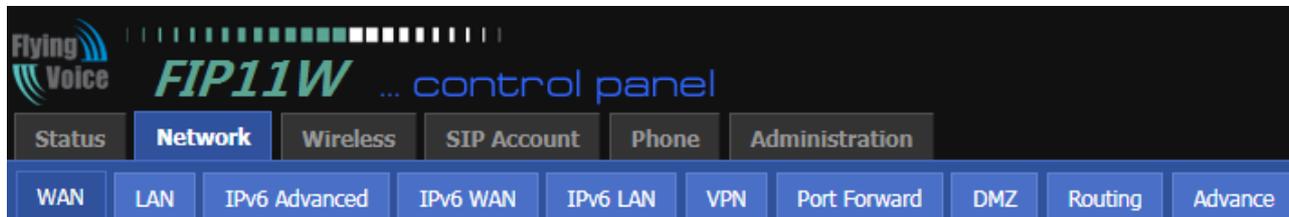
SIP QoS(0-63)
 RTP QoS(0-63)

項目	説明
SIP QoS(0-63)	
RTP QoS(0-63)	

現地環境によってパラメーター値を設定してください

ネットワーク

同ページでは WANポート設定・LANポート設定・VPN・DMZ・無線・QoS・DDNS 設定が行えます
以下がサブタグのタイトルバー画像となります:



WAN

WAN接続方法は「DHCP」「static」「PPPoE」と選択ができます

Static:

staticモードではユーザー側でIPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ・各DNSアドレスを入力する必要があります。

INTERNET	
WAN	
WAN IP Mode	Static ▼
MAC Address Clone	Disable ▼
LAN Connection Mode	NAT ▼
Static	
IP Address	192.168.10.102
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.10.1
DNS Mode	Manual ▼
Primary DNS	192.168.10.1
Secondary DNS	192.168.18.1

項目	説明
WAN IP モード	Staticを選択
MACアドレスクローン	MACアドレスクローン 有効・無効
LAN接続モード	ルーターかブリッジを選択
IPアドレス	インターネットポートのIPアドレス入力
サブネットマスク	インターネットポートのサブネットマスクアドレス入力
デフォルトゲートウェイ	インターネットポートのデフォルトゲートウェイアドレス入力
DNS Mode	マニュアル

プライマリDNS	インターネットポートのプライマリDNS入力
セカンダリDNS	インターネットポートのセカンダリDNS入力

DHCP:

DHCPモードではIP電話機が、DHCPクライアントになる為、DHCPサーバーから自動的にIPアドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイ情報を受け取ります

INTERNET**WAN**

WAN IP Mode	DHCP ▼
DHCP Server	<input type="text"/>
MAC Address Clone	Disable ▼
LAN Connection Mode	NAT ▼
DNS Mode	Manual ▼
Primary DNS	<input type="text"/>
Secondary DNS	<input type="text"/>

項目	説明
WAN IP ード	DHCP
DHCPサーバー	DHCP サーバー
MACアドレスクローン	MACアドレスクローン 有効・無効
LAN接続モード	ルーターかブリッジを選択
DNS モード	マニュアル：プライマリDNS・セカンダリDNSをそれぞれユーザー側で入力する必要があります オート:IP電話機はDHCPサーバーからプライマリDNS・セカンダリDNSを自動取得します
プライマリDNS	インターネットポートのプライマリDNS入力
セカンダリDNS	インターネットポートのセカンダリDNS入力

PPPoE:

INTERNET

WAN

WAN IP Mode	PPPoE ▼
MAC Address Clone	Disable ▼
LAN Connection Mode	NAT ▼
DNS Mode	Auto ▼
Primary DNS	<input type="text"/>
Secondary DNS	<input type="text"/>
PPPoE	
PPPoE Account	<input type="text"/>
PPPoE Password	<input type="password"/>
Confirm Password	<input type="password"/>
Service Name	<input type="text"/>
	Leave empty to autodetect
Operation Mode	Keep Alive ▼
Keep Alive Redial Period(0-3600s)	<input type="text" value="5"/>

項目	説明
WAN IP ード	PPPoE.
MACアドレスクローン	MACアドレスクローン 有効・無効
LAN接続モード	ルーターかブリッジを選択
DNSモード	マニュアル：プライマリーDNS・セカンダリーDNSをそれぞれユーザー側で入力する必要があります オート:IP電話機はDHCPサーバーからプライマリーDNS・セカンダリーDNSを自動取得します。
プライマリーDNS	インターネットポートのプライマリーDNS入力
セカンダリーDNS	インターネットポートのセカンダリーDNS入力
PPPoE アカウント	ISPから発行されたアカウント情報を入力。
PPPoEパスワード	ISPから発行されたパスワード情報を入力。
パスワード再確認	パスワードを再入力
サービス名	サービス名を入力
オペレーションモード	KEEP ALIVE/オンデマンド/マニュアルを選択 デフォルト値はkeep alive
Keep Alive Redial Period(0-3600s)	リダイヤルの為のダイヤル間隔値

LAN

PC Port(LAN)

PC Port(LAN)

Local IP Address	<input type="text" value="192.168.1.1"/>	
Local Subnet Mask	<input type="text" value="255.255.255.0"/>	
Local DHCP Server	<input type="text" value="Enable"/>	
DHCP Start Address	<input type="text" value="192.168.1.2"/>	
DHCP End Address	<input type="text" value="192.168.1.254"/>	
DNS Mode	<input type="text" value="Auto"/>	
Primary DNS	<input type="text" value="192.168.1.1"/>	
Secondary DNS	<input type="text" value="192.168.10.1"/>	
Client Lease Time(0-86400s)	<input type="text" value="86400"/>	
	<input type="button" value="DHCP Client List"/>	
DHCP Static Allotment		
NO.	MAC	IP Address
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>
2	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	<input type="text"/>
DNS Proxy	<input type="text" value="Enable"/>	

項目	説明
ローカルIPアドレス	PCポートのIPアドレスを指定
ローカスサブネットマスク	サブネットマスクを指定
ローカルDHCPサーバー	有効になっていないとDHCPサーバー機能は使えません
DHCP開始アドレス	DHCP範囲の最小アドレス
DHCP終了アドレス	DHCP範囲の最大アドレス
DNSモード	マニュアル：プライマリーDNS・セカンダリーDNSをそれぞれユーザー側で入力する必要があります オート：IP電話機はDHCPサーバーからプライマリーDNS・セカンダリーDNSを自動取得します。
プライマリーDNS	インターネットポートのプライマリーDNS入力
セカンダリーDNS	インターネットポートのセカンダリーDNS入力
Client Lease Time(0-86400s)	DHCPクライアントがIPリリースする間隔値 デフォルト値86400s.

VPN

VPNはパブリックネットワーク内にプライベートネットワークを構築する技術となります。接続は2拠点ノード接続とあり、従来の物理的に2拠点を繋ぐブライバートネットワークとは異なり、公共ネットワークプロバイダーのプラットフォームを利用します。VPN技術を利用するプライベート接続が行え、データ通信を公共ネットワーク上で直接行えます

PPTP :

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration				
WAN	LAN	IPv6 Advanced	IPv6 WAN	IPv6 LAN	VPN	Port Forward	DMZ	Routing	Advance

VPN Settings

Administration

VPN Enable

Initial Service IP

User Name

Password

VPN As Default Route

MPPE Stateful

Require MPPE

項目	説明
VPN 有効	PPTP 選択
初期サービスIP	VPNサーバーIPアドレス入力
ユーザー名	認証に必要なユーザー名を入力
パスワード	認証に必要なパスワードを入力
VPN As Defuat Route	VPNをデフォルト通信にするか デフォルト値 無効
MPPE Stateful	デフォルト値 無効
Require MPPE	デフォルト値 無効

L2TP

Status **Network** Wireless SIP Account Phone Administration
WAN LAN IPv6 Advanced IPv6 WAN IPv6 LAN **VPN** Port Forward DMZ Routing Advance

VPN Settings

Administration

VPN Enable ▾
 Initial Service IP
 User Name
 Password
 L2TP Tunnel Name
 L2TP Tunnel Password
 VPN As Default Route ▾

項目	説明
VPN 有効	L2TP を選択
初期サービスIP	VPNサーバーIPアドレス入力
ユーザー名	認証に必要なユーザー名を入力
パスワード	認証に必要なパスワードを入力
L2TP Tunnel名	L2TP Tunnel名 入力
L2TP Tunnelパスワード	L2TP Tunnelパスワード 入力
VPN As Default Route	VPNをデフォルト通信にするか デフォルト値 無効

OpenVPN

Status **Network** Wireless SIP Account Phone Administration
WAN LAN IPv6 Advanced IPv6 WAN IPv6 LAN **VPN** Port Forward DMZ Routing Advance

VPN Settings

Administration

VPN Enable ▾
 OpenVPN TLS Auth ▾
 VPN As Default Route ▾

項目	説明
VPN 有効	OPENVPNを選択
OpenVPN TLS Auth	OpenVPN TLS 認証 有効・無効 設定
VPN As Default Route	VPNをデフォルト通信にするか デフォルト値 無効

DMZ

インターネットなどの信頼できないネットワークと、社内ネットワークなどの信頼できるネットワークの間に置かれる、ネットワーク領域を指しますDMZを含むネットワークを構成する場合、一般的には、ファイアウォールによって「インターネット→DMZ」「内部ネットワーク→DMZ」「DMZ→インターネット」の通信は許可されているが、「DMZ→内部ネットワーク」の通信は制限される。要は外部から内部のインターネットを守ることになります。DMZ制限が行えることでDMZホストはインターネットに内部からのアクセスを開放する設定も行えます。従来は特別な目的（オンラインゲームなど）の際に使われます

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration				
WAN	LAN	IPv6 Advanced	IPv6 WAN	IPv6 LAN	VPN	Port Forward	DMZ	Routing	Advance

Demilitarized Zone (DMZ)

DMZ Setting

DMZ Enable

DMZ Host IP Address

項目	説明
DMZ 有効	有効・無効設定
DMZホストIPアドレス	DMZホストIPアドレスを入力

ルーティング

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration				
WAN	LAN	IPv6 Advanced	IPv6 WAN	IPv6 LAN	VPN	Port Forward	DMZ	Routing	Advance

Static Routing Settings

Add a routing rule

Destination	<input type="text"/>
Host/Net	Host ▼
Gateway	<input type="text"/>
Interface	LAN ▼
Comment	<input type="text"/>

Apply Reset

Current Routing table in the system

No.	Destination	Mask	Gateway	Flags	Metric	Interface	Comment
Delete Selected Reset							

ルーティングルールを設定:

項目	説明
送信先	ルーティングルールの送信先IPアドレスを追加
ホスト/ネット	追加方法を選択 ホスト・ネット
ゲートウェイ	ゲートウェイのIPアドレス入力
インターフェース	LAN・INTERNET・VOICE・TR069・VPNから選択
コメント	メモ
現在のルーティングテーブル	既存機器のルーティングルールの確認できます

電話

このページは音量・転送・ダイヤルルール・電話帳などの設定についてとなります

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration	
Preferences	Multi-Functional Key	Dial Rule	Phonebook	Call Log	Action URL	Web Dial

環境設定

VolumeSettings

Volume Settings

Handset Input Gain	5 ▼	Handset Volume	5 ▼
Speakerphone Input Gain	5 ▼	Speaker Volume	5 ▼
Ringer Volume	5 ▼	Speakerphone Mic Boost	Disable ▼

項目	説明
受話器インプットゲイン	受話器マイクの音量設定
受話器音量	受話器音量の設定
スピーカーインプットゲイン	スピーカーマイクの音量設定
スピーカー音量	スピーカーの音量設定
着信音	着信音の音量設定
スピーカーマイクブース	スピーカーマイクを20dbブースとする 有効・無効設定

地域

Regional

Tone Type	China ▼		
Dial Tone			
Busy Tone			
Off Hook Warning Tone			
Ring Back Tone			
Call Waiting Tone			
Min Jitter Delay(0-600ms)	20	Max Jitter Delay(20-1000ms)	160
Ringing Time(10-300sec)	60		

項目	説明
トーンタイプ	トーンタイプを選択
ダイヤルトーン	ダイヤルトーン
ビジートーン	ビジートーン
オフフックアラート音	受話器が外れている際のアラート音
呼出音	呼出音
キャッチホン音	キャッチホン音
最小ジッタ遅れ(0-600ms)	ジッタ遅れ最小値設定
最大ジッタ遅れ(20-1000ms)	ジッタ遅れ最大値設定
着信時間(10-300sec)	着信時間

Miscellaneous

Auto Answer	Disable ▼	Auto Answer by CallINFO	Disable ▼
Dial Time Out(IDT)	5	Call Immediately Key	# ▼
Auto Hookon Mode	Enable ▼	Preferred Audio Device	Disable ▼
ICMP Ping	Disable ▼	Escaped char enable	Disable ▼

項目	説明
全コール自動応答	自動応答 有効・無効 設定
自動応答 (CALLINFO)	CALLINFOによる自動応答 有効・無効 設定
ダイヤルタイムアウト(IDT)	発信時に番号入力をする最長時間
Call Immediately Key	同キーを押すと発信コマンドとなる デフォルト値 "#"
自動オンフックモード	有効
優先オーディオ機器	
ICMP Ping	ICMP Pingが有効の際、電話機は一定間隔でSIPサーバーにpingします。無効の場合電話機は "hello"の空白パケットをSIPサーバーに送信します
Escaped char enable	有効・無効 設定 デフォルト値は無効

電話帳

電話帳は現在、番号ごとに登録する方法を一括登録する方法があります
一括登録

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration	
Preferences	Multi-Functional Key	Dial Rule	Phonebook	Call Log	Action URL	Web Dial

Phonebook Upload && Download

Phonebook Upload && Download

Local File 未选择任何文件

Blacklist Upload && Download

Blacklist Upload && Download

Local File 未选择任何文件

項目	説明
----	----

電話帳アップロード・ダウンロード CSVフォーマット・XMLフォーマットでアップロード

ブラックリストアップロード・ダウンロード CSVフォーマット・XMLフォーマットでアップロード

フォーマットは以下（一度ダウンロードするとフォーマットを取得できます）

	A	B	C	D	E
1	Name	Number	Bell Type		
2	A	123	Bell Type1		
3					
4					
5					
6					
7					

項目	説明
名前	名前入力
番号	番号入力
着信音	着信音入力

番号ごとに追加:

Phonebook

Index	Name	Number	Ring	
				<input type="checkbox"/>

Name

Number

Ring

ステップ:**電話帳に追加:**

- ステップ 1 追加を押すと設定画面が表示.
- ステップ 2 各項目を入力
- ステップ 3 「Ok」をクリック
- ステップ 4 「保存」をクリック

電話帳を編集:

- ステップ 1 編集したい番号に☐
- ステップ 2 「編集」を押す
- ステップ 3 編集情報を更新
- ステップ 4 「Ok」をクリック
- ステップ 5 「保存」をクリック

電話帳から削除:

- ステップ 1 削除したい番号に☐.
- ステップ 2 「削除」をクリック

電話帳からブラックリストへ移動:

- ステップ 1 移動させたい番号に☐
- ステップ 2 「ブラックリスト」をクリック

コールログ

全通話履歴を確認 (リダイヤル・応答履歴・不在着信)

リダイヤル履歴

Redial List				
Index	NUMBER	Start Time	Duration	<input type="checkbox"/>
1	601	10/17 19:54	00:00:01	<input type="checkbox"/>
2	1234	10/17 19:55	00:00:01	<input type="checkbox"/>
3	585852145865	10/17 19:55	00:00:01	<input type="checkbox"/>

応答履歴

Answered Calls				
Index	NUMBER	Start Time	Duration	<input type="checkbox"/>
1	601	10/17 19:55	00:00:00	<input type="checkbox"/>

不在着信履歴

Missed Calls				
Index	NUMBER	Start Time	Duration	<input type="checkbox"/>
1	601	10/17 19:56	00:00:00	<input type="checkbox"/>

機能キー

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration	
Preferences	Multi-Functional Key	Dial Rule	Phonebook	Call Log	Action URL	Web Dial

Multi-Functional Key

Current Key Board Basic Board ▼

Key	Type	Mode	Line	Expansion	Label	Pickup Code
Exp Key1	Speed Dial ▼	▼	Auto ▼			

項目	説明
キー	キー番号
タイプ	機能タイプ
モード	タイプをショートカットキーにすることでモードも選択できます
ライン	ライン選択か 自動
拡張	番号入力

タイプ	説明
無効	既往を無効にする
段祝ダイヤル	1プッシュで発信。緊急時連絡先などを登録するケースが多
BLF	設定された別電話番号・ユーザーの状況を光により識別ができる
ショートカット	ショートカット機能。電話帳・通話履歴・SMS・ログインログアウトから選択
パーク保留	パーク保留
ラインキー	ラインキーを設定
BLF Lists	
X-broadworks-callpark	

BLLステータス :

アイコン	説明	機能
	緑	未使用状況
	赤	通話中
	黄色	着信中
	灰色	アカウントが存在しない（登録失敗
	青	BroadSoft Platform関連

ダイヤルルール

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration	
Preferences	Multi-Functional Key	Dial Rule	Phonebook	Call Log	Action URL	Web Dial
Dial Plan						

General

Dial Plan	Enable ▼
Unmatched Policy	Accept ▼

No.	Line	Digit Map	Action	Move Up	Move Down	
-----	------	-----------	--------	---------	-----------	--

Line	Line1 ▼
Digit Map	<input type="text"/>
Action	Deny ▼
<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="Cancel"/>	

項目	説明
ダイヤルルール	有効・無効 設定
Unmatched Policy	許可・拒否 設定
Line	ラインを選択
デジタルマップ	ダイヤルプランを追加
Action	Grammar, please refer to the dial plan for the grammar

step:

Add a dial plan:

- Step 1. Enable the dial plan
- Step 2. Click the "Add" button, will appear as shown in Figure 1 configuration table
- Step 3. Fill in the value of the parameter
- Step 4. Press the "Ok" button to end the configuration.
- Step 5. Press the Save button to save your changes

Edit a dial plan:

- Step 1. Enable the dial plan
- Step 2. Select a dial plan
- Step 3. Click the "Edit" button, will appear as shown in Figure 2 configuration table
- Step 4. Change the value of the parameter
- Step 5. Press the "Ok" button to end the configuration
- Step 6. Press "Save" to save your changes

Delete a dial plan:

- Step 1. Enable the dial plan
- Step 2. Select a dial plan
- Step 3. Click the "Delete" button to delete the dial plan

Dial Rule grammar

Character	Description
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 * #	Legal characters
x	The lowercase letter 'x' matches a legal character
[sequence]	Match a sequence For example: [0-9]: matches one of the numbers 0 to 9 [23-5*]: Match character 2 or 3 or 4 or 5 or *
x.	Matchx, xx, xxx, xxxx, xxxxx..... For example: "01." can match "0", "01", "011", "0111", , "01111..."
<diald: substituted>	Replace For example : <8:1650>123456 : input "85551212", output"16505551212"
x,y	Enter "x" will have a dial tone, enter "y" after the dial tone stops For example : "9,1xxxxxxxx": telephone input "9" after the dial tone, enter "1" after the dial tone stop "9,8,010x": telephone input "9" after the dial tone, enter "0" after the dial tone stop
T	Set the delay time For example : "<9: 111> T2": the phone will broadcast a valid number "2"

No.	Line	Digit Map	Action	Move Up	Move Down	☐
1	Line1	<:010>#12<#:%23>2	Dial Out	▲	▼	☐
2	Line2	<5,:><:241333>8101	Dial Out	▲	▼	☐
3	Line3	<[4-5]:>22xxxx<:333>	Dial Out	▲	▼	☐
4	Line4	<2-3,:5:>622.	Dial Out	▲	▼	☐
5	Line5	777x.8	Deny	▲	▼	☐

Example 1 points to Line 1. Example 2 points to Line 2. Example 3 points to Line 3. Example 4 points to Line 4. Example 5 points to Line 5.

Example 1

ユーザーが# 12 # 2をダイヤルすると、010 # 12% 232が発信される

Example 2

ユーザーが58101をダイヤルすると、2413338101が発信される

5を押すとダイヤルトーンになり、8を押すと停止する

Example 3

ユーザーが422xxxx が 522xxxxを押すとすると,22xxxx333が発信される

Example 4

ユーザーが2622、26222、262222、362222をダイヤルする5622、56222、562222が発信される

2か3を押すとダイヤルトーンになり、6を押すとダイヤルトーンが停止する

Example 5

If the user dials 777xxx ... x8, the phone rejects the number to dial out.

アドミン

同ページでは利用者は「日時/時刻」「パスワード」「システムログ」の設定確認ができます

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration				
Management	Firmware Upgrade	Scheduled Tasks	Certificates	Provision	SNMP	TR069	Diagnosis	Operating Mode	

マネジメント

日時/時刻 設定

Time/Date Setting	
NTP Settings	
NTP Enable	Enable ▼
Option 42	Disable ▼
Current Time	2017 - 10 - 13 . 19 : 05 : 14
Sync with host	Sync with host
NTP Settings	(GMT+08:00) China Coast, Hong Kong ▼
Primary NTP Server	pool.ntp.org
Secondary NTP Server	cn.pool.ntp.org
NTP synchronization(1 - 1440min)	60

項目	説明
NTP有効	有効・無効 設定
Option 42	有効・無効 設定
現在時刻	現在の時刻を確認

Sync with host	Set the time zone
NTP 設定	該当NTP設定
プライマリーNTPサーバー	IPアドレスかドメインを入力
Secondary NTP Server	IPアドレスかドメインを入力
NTP シンクロニゼーション(1 - 1440min)	NTP シンクロサイクルの間隔 デフォルト値60分
パスワードリセット	

Administrator Settings

Password Reset

User Type	<input type="text" value="Admin User"/>
New User Name	<input type="text" value="admin"/>
New Password	<input type="text"/> (The maximum length is 25)
Confirm Password	<input type="text"/>

項目	説明
ユーザータイプ	理ユーザー・簡易ユーザー・ベーシックユーザーを選択
新しいユーザー名	ユーザー名入力
新しいパスワード	パスワード入力
パスワード再入力	パスワード再度入力

ウェブアクセス

Web Access

Remote Web Login	<input type="text" value="Enable"/>
Web Port	<input type="text" value="80"/>
Web SSL Port	<input type="text" value="443"/>
Web Idle Timeout(0 - 60min)	<input type="text" value="5"/>
Allowed Remote IP(IP1;IP2;...)	<input type="text" value="0.0.0.0"/>

項目	説明
ウェブアクセス	ウェブログイン 有効・無効 設定
Web ポート	インターネットポート・PCポートからログインするポートを設定 デフォルト値 80
Web SSLポート	
ウェブIdleタイムアウト(0 - 60min)	ウェブインターフェースログイン状態で動作が一定時間されない場合のタイムアウト時間設定ができます
リモートIP許可 IP(IP1;IP2;...)	リモートアクセスを許可するIPアドレス

システムログ設定

System Log Setting

Syslog Setting

Syslog Enable	Enable ▼
Syslog Level	INFO ▼
Remote Syslog Enable	Disable ▼
Remote Syslog Server	<input type="text"/>

項目	説明
システムムログ	有効・無効 設定
システムログレベル	INFOはデバッグより多くの情報を取得します
リモートシステムログ有効	有効・無効 設定
リモートシステムログサーバー	リモートシステムログサーバーIPアドレス

同電話機はローカル・リモートのログをサポートします

ローカル:

- ステップ1 リモートログ機能を無効にし、システムログは有効にする
- ステップ2 「保存&適応」を押してから、「再起動」を押し設定を反映させる
- ステップ3 ステータス・システムログページにてログを確認

リモート:

- ステップ1 リモートログを有効にし、リモートシステムログサーバーのIPアドレスを入力する
- ステップ2 ログレベルを選択
- ステップ3 「保存&適応」を押してから、「再起動」を押し設定を反映させる
- ステップ4 利用者はシステムログサーバーにて各ログを確認できる。またステータス・システムログページにてログを確認するもできる

工場初期化時設定

Factory Defaults Setting

Factory Defaults Setting

Factory Defaults Lock	Disable ▼
Zero Config	Enable ▼

Factory Defaults

Reset to Factory Defaults	Factory Default
---------------------------	-----------------

ページ下の「工場出荷初期化」をクリックする

ファームウェアマネジメント

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration			
Management	Firmware Upgrade	Scheduled Tasks	Certificates	Provision	SNMP	TR069	Diagnosis	
Firmware Management								
Firmware Upgrade								
Local Upgrade								
<input type="button" value="选择文件"/> 未选择任何文件								
<input type="button" value="Upgrade"/>								

ステップ1 アップグレードするファームウェアファイルを選択

ステップ2 を押し、アップグレード開始。液晶ディスプレイにはアップグレードされていることが表記される

ステップ3 web経由で電話機のログインし、ステータスでファームウェアバージョンを確認

プロビジョン

- 1 電話機が自動的にアップグレードや設定が反映されるように許可
- 2 電話機は次の三つをサポートします「TFTP」「HTTP」「HTTPS」

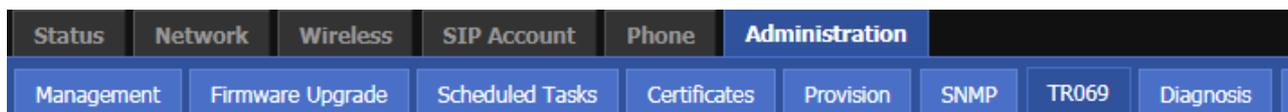
TFTP/HTTP/HTTPSをテストや利用するには、それぞれのサーバーがあり、ユーザーはアップグレードファイル・コンフィグファイルがある必要があります。HTTPSの場合にはCA証明書・クライアント証明書ファイル・プライベートキーファイルが必要です

- 3 利用者はCA証明書・クライアント証明書ファイル・プライベートキーファイルを電話機のマネジメントページにてアップロードすることができます
- 4 詳細はプロビジョニングユーザーマニュアルをご参照ください

Status	Network	Wireless	SIP Account	Phone	Administration	
Management	Firmware Upgrade	Scheduled Tasks	Certificates	Provision	SNMP	TR069
Provision						
Configuration Profile						
Provision Enable					Enable	▼
Resync On Reset					Enable	▼
Resync Random Delay(sec)					40	
Resync Periodic(sec)					3600	
Resync Error Retry Delay(sec)					3600	
Forced Resync Delay(sec)					14400	
Resync After Upgrade					Enable	▼
Resync From SIP					Disable	▼
Option 66					Enable	▼
Option 67					Enable	▼
Config File Name					\$(MA)	
User Agent						
Profile Rule					http://prv1.flyingvoice.net:69/config/\$(MA)?mac=\$(MA)&	
Firmware Upgrade						
Upgrade Enable					Enable	▼
Upgrade Error Retry Delay(sec)					3600	
Upgrade Rule						
<input type="button" value="Save & Apply"/> <input type="button" value="Save"/> <input type="button" value="Cancel"/> <input type="button" value="Reboot"/>						

項目	説明
プロビジョン有効	有効・無効 設定
再同期リセット	端末再起動後、DIV378再度再起動させるか 有効・無効 設定
再同期ランダムDelay(sec)	ファイル同期、最大delayリクエストで設定=40
定期的再同期c(sec)	デフォルト値 3600
再同期エラーリトライ Delay(sec)	直近の登録が失敗した場合、再度同期を試みる間隔 デフォルト値3600
強制再同期(sec)	再同期中、ATAがビジーの場合、一定期間待機するが同数値が最長待機間隔となり、デフォルト値14400s
アップグレード後再同期	有効・無効 設定 デフォルト値 有効
SIPから再同期	h有効・無効 設定
Option 66	これが利用されるのは会社がプロビジョニングモデルを利用している場合のみ。Option66をTFTPで使用する場合、利用者は正しいプロファイルネームをウェブページで登録する必要がある。 Option66が向こう時はこのパラメーター値は動作しない
Option 67	有効・無効 設定
コンフィグファイル名	
ユーザーエージェント	
プロファイルルール	コンフィギュレーションファイルのURL
アップグレード有効	有効・無効 設定 特定ファイルパスはTFTPのroot directory と関連している
Upgrade Error Retry Delay(sec)	デフォルト値 3600秒
Upgrade Rule	Set the upgrade error retry delay interval, the default 3600 seconds

TR069



TR069 Configuration

ACS

TR069 Enable	Enable ▼
CWMP	Enable ▼
ACS URL	<input type="text" value="http://acs1.flyingvoice.net:8080/tr069"/>
User Name	<input type="text" value="FLY6416B000570"/>
Password	<input type="password" value="....."/>
Periodic Inform Enable	Enable ▼
Periodic Inform Interval	<input type="text" value="1800"/>

Connect Request

User Name	<input type="text" value="IP6701"/>
Password	<input type="password" value="....."/>

項目	説明
TR069 有効	有効・無効 設定
CWMP	有効・無効 設定
ACS URL	TR069サーバーURL
ユーザー名	TR069サーバー接続のユーザー名
パスワード	TR069サーバー接続のパスワード
Periodic Inform Enable	有効・無効 設定
Periodic Inform Interval	サーバー通知間隔 デフォルト3600
ユーザー名	TR069サーバーが電話機に接続するユーザー名
パスワード	TR069サーバーが電話機に接続するパスワード

第五章 トラブルシューティング

同章では設置・運用・IP電話機についての問題解決について触れます

- ・電源が入らない
- ・ダイヤルトーンが聞こえない
- ・発信ができない
- ・着信ができない
- ・通話中音が聞こえない
- ・ウェブログインができない
- ・パスワード紛失

電源が入らない

解決策:

ACアダプターが正しく接続されているか確認

ダイヤルトーンが聞こえない

解決策:

受話器・電話機配線が正しく接続されているか確認

発信ができない

解決策:

設定されているオーディオコーデックがサーバー側でサポートされているか確認。

それ以外は管理者、業者、サービスプロバイダーに更なる情報、アシスタントを求めてください

着信ができない

solution:

設定されているオーディオコーデックがサーバー側でサポートされているか確認。

それ以外は管理者、業者、サービスプロバイダーに更なる情報、アシスタントを求めてください

通話中、音が聞こえない

解決策:

設定されているオーディオコーデックがサーバー側でサポートされているか確認。

それ以外は管理者、業者、サービスプロバイダーに更なる情報、アシスタントを求めてください

Audio Configuration			
Codec Setup			
Audio Codec Type 1	G.711U ▼	Audio Codec Type 2	G.711A ▼
Audio Codec Type 3	G.729 ▼	Audio Codec Type 4	G.722 ▼
Audio Codec Type 5	G.723 ▼	Audio Codec Type 6	G726-32 ▼
Audio Codec Type 7	iLBC ▼		
G.723 Coding Speed	5.3k bps ▼	Packet Cycle(ms)	20 ▼
Silence Supp	Disable ▼	Echo Cancel	Enable ▼
Auto Gain Control	Enable ▼	Use First Matching Vocoder in 2000K SDP	Disable ▼
Codec Priority	Remote ▼	Packet Cycle Follows Remote SDP	Disable ▼

ウェブログインができない

解決策:

イーサネットケーブルが正しく接続されているか確認

ブラウザ上URLが正しか確認 (http:// 電話機IPアドレス)

利用者ネットワークのファイヤーウォール・NAT設定を確認

別のブラウザで試してみる（IE/Firefox/Mozillaなど）

それ以外は管理者、業者、サービスプロバイダーに更なる情報、アシスタントを求めてください

パスワード紛失

ウェブログイン・電話機ログインのデフォルトは「admin」です

利用者側でパスワードを変更し、運室してしまった場合、既存のコンフィグ設定にはアクセスすることができません。

解決策:

「#*06#」を押し、その後「23646」を入力し工場初期化状態に電話機を戻してください

もし工場初期化した場合、以前の全設定は全て削除されます